

シルバー日向岬

設立10周年記念特集号

第17号

平成11年8月1日

〔編集発行〕

㈹日向市シルバー人材センター

〒883-0021

日向市大字財光寺847番地1

TEL 0982 (52) 2200

FAX 0982 (52) 3476

祝 社団法人日向市シルバー人材センター設立10周年記念式典



記念式典

日向市シルバー人材センターは、平成元年の春に産声をあげました。

爾来十年間に亘って、行政当局のご指導・ご援助と、地域社会の理解あるご協力をいただき、ここに十年の節目を迎えることができました。この十年を契機として「自主」「自立」「共働」「共助」の基本的理念のもとに、活力に満ちた事業の運営を図りながら、きたるべき二十一世紀に向かって尚一層の飛躍を念願いたします。

諸外国に例をみない速さで高齢化が進む中、益々シルバー人材センターの役割は、今後期待も大きくなっていくものと考えます。十年の土台を足場に、輝かしい金字塔を打ち立てたいものです。



年記念式典

5月25日 日向市文化交流センター



今村健一初代局長



そよ風会(代表尾崎美代子さん)



10年功労の会員の皆さん



理事長あいさつ



第一部 記念式典

開式のことば
 黙 禱
 理事長あいさつ
 感謝状贈呈
 表彰状贈呈
 来賓祝辞
 来賓紹介
 祝電披露
 閉式のことば



司会 渡邊妙子さん



一般表彰 (和田病院)



職員表彰 (前田和久さん)



会員表彰 (代表黒木八千代さん)



受賞の慶び

日知屋本郷B地域班 三樹次男



この度、十周年に当り賞状、また其の上に記念品まで戴き誠に有難うございました。

センターに入会して、早や十年が過ぎました。振り返れば色々な事がありました。今になって思えば、すべてが良い人生勉強に成る事ばかりでした。これも一重にセンターの職員の皆様方の親切なご指導と同僚各位のあたたかいご支援のお陰でございます。今後益々人生勉強をたどりながら健康に気をつけて、社会奉仕の真心を忘れる事なく頑張りたいと思います。



最良の日

幸勝地域班 黒木 オイロ



日向市シルバー人材センター十周年記念表彰式で、七〇歳を過ぎた私まで立派な御祝を

して戴きありがとうございます。趣味が仕事とカラオケの私には、第二の人生の最良の日、また入会して本当に良かったと無上の喜びでございました。事務局、職員、役員の方々には、大変な御苦勞であった事と感謝致しております。

私が入会致しましたのは、平成二年三月でした。振り返ってみると、其の間に色々な出会いや、友達や仲間も沢山でき、今でも楽しく仕事をさせて戴いております。高齢者の生き甲斐の場、健康づくりの場、交流の場として、自主・自立・共働・共助のセンターの理念をモットーと致しまして、これからも皆様方と共に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



名演技



第二部 祝賀会

開式のことば
 乾杯
 アトラクション
 万歳三唱
 閉式のことば

乾杯のあと、アトラクションとして
 会員による大正琴は、片伯部千鶴子さ
 んをリーダーに、日頃の練習の成果を
 遺憾なく発揮し、今評判のだんご3兄
 弟で幕を開け、釜山港へ帰れ、古城と
 演奏され、最後もだんご3兄弟
 の名調子よろしく幕を閉じて拍
 手の大喝采でした。つづいて植
 木ユキエさんの民謡秋田大黒
 舞、男性会員によるひよっこ
 踊り、鶴田君子さんの舞踊、最
 後は女性全員のレクダンスと会
 員の熱演で花を添え、十周年を祝して
 なごやかな歓談と会員のアトラクショ
 ンも滞りなく終了し万歳三唱で全ての
 記念行事も幕を閉じました。



「涙の夜来香」

あの日の感
 動を胸に益々
 練習に励みた
 いと思いま
 す。多くの
 方々のご声援
 が今でも耳の
 奥から聞こえ
 てきそうで
 す。色々とし
 配慮頂きまし
 たシルバー人
 材センターの
 職員の方々へ
 深く感謝致し
 ます。



大正琴「菜の花会」



万歳三唱



独唱



アトラクションに参加して
 財光寺日地域班 片伯部千鶴子

だんご三兄弟で
 幕が降ろされた瞬
 間、「どうにか演
 奏できた」という
 安堵感と、張りつ
 めていた緊張感が身体からどっと抜け
 ていくのを感じました。

思えば昨年「十周年記念の祝宴で大
 正琴を弾いて下さいね。」と頼まれて
 から、会員一同、心一つにして練習
 を積んでまいりました。一つの目標に
 向かってがんばることで、会員相互の
 繋がりが深まったようです。



ひよっこ踊りの勢ぞろい

平成十一年度通常総会

五月二十五日(火)午前九時、会員二百九十名出席のもとに、盛大に開催されました。議案第一号平成十年度事業報告から審議に入り、第四号平成十一年度収支予算(案)まで、終始和やかな雰囲気の中に、会員のご協力が無事終了致しましたことに対し、衷心よりお礼申し上げます。

連帯感ひとしお

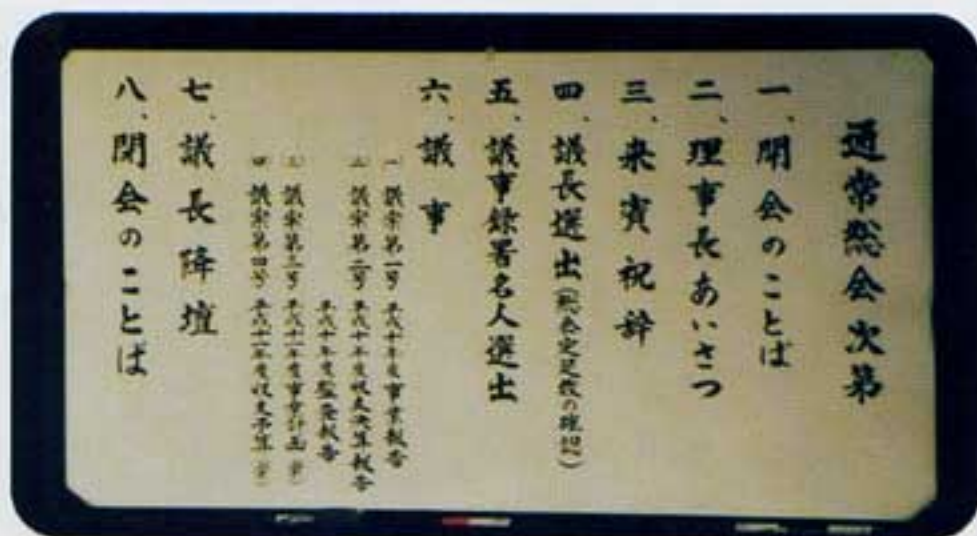
財光寺日地域班 三股 英一



初めて総会に参加。しかも、この十年の沿革を刻んだメモリアルセレモニー。まず会場ホールを埋めた四百人の会員に圧倒される。志を同じくする人の多さと連

帯感に胸が高鳴る。

厳肅な総会、式典、被表彰者への畏敬の念。くつろぎ和む祝賀の会、総会と式典。祝賀会の待ち時間はちよっと長かったが、その空白もまたゆとりある人生の象徴か。お祝の紅白饅頭にニンマリしながら所属意識、モラルの向上に燃えた一日だった。



赤木市長祝辞



審議中



熱心に聞いている会員の皆さん

会員のひろば

シルバー人材センター

との出会い

財光寺B地域班 岩見 美代子



すっかり夏の日差しになりました。まだ、お会いできない会員の皆様いかがお過ごしですか。

か。私も楽しく過ごしています。

今日はシルバー人材センターに入会したきっかけを聞かれましたけど、どう説明してよいか分かりません。平成九年に定年退職し、平成十一年三月まで孫の子守りなどしていたのですが、四月より孫も入園し、又その間旅行などもしたので、何か自分にも出来る事はないだろうかと思いつきました。

まずは職業安定所、知人、友達にも会い、ふと思いついたのがシルバー人材センターでした。その足ですぐ事務所に行き親切にセンターの説明、仕事の内容を聞いて帰り、入会后二ヶ月して仕事の電話があり三日間行ったのですが、うれしくて楽しくてたまりません。前は定年後が不安でしたが、今は自分にも出来る事があるので毎日朝がくるのが楽しみです。

皆様に好感を持ってもらえる様に頑張ります。

地域に密着

財光寺A地域班 平塚 哲



繁り過ぎ、絡み合い、食い込んだピラカンサの枝を剪定していたら大きな車が来て止

まった。目と目が合ったのでピョコンと頭を下げると、相手の方もニッコリ笑って「シルバーさんですか」と問う。

「いいえ、友達が庭木の手入れをしているので、お手伝いしています。」と答えると、ハイと笑顔で一礼して立ち

去った。後で何事かなと思いついてみたら分かった。ここから東に四軒目。

二、三日前にシルバーさんが来て、庭木の剪定をきれいにしてくれた。最近団地内であちこちシルバーさんの剪定作業が見受けられる。誠実で人気がいい。地域に密着。嬉しいことである。

仕事を終えて家に戻ると「シルバー人材センター七月号」これを見てみると差し出された。表紙を見てオー！これは可愛いじゃなく膝っ子抱っこして。次を開くと何んと何んと、日向シルバーセンターそよ風グループ尾崎美代子さんの作品じゃないか。見事、綺麗に出来ている。全国に日向のシルバーを紹介して頂いて有難う存じ

6/15 永寿園へぞうきん寄贈と大正琴の慰問演奏



サークル活動

この十年にして十年、内外共に充実し育まれ、五月二十五日に日向市文化交流センターで設立十周年記念式典が来賓も招待され、会員も多数出席のもと開催されました。とても立派で盛大でした。歴代役員の方々の愛情とご努力、研鑽があったなればこそと感謝申し上げます。

この十年を振り返り、更に研鑽頑張って、地域住民の皆様方から、愛される、信頼される人材センター作りに努めてまいりたいと思います。

楽碁会

7/16

第四回囲碁大会

熱戦展開、入賞者決まる。

- 優勝 本松敏生
- 二位 佐藤局長
- 三位 久我成美



優勝の本松さん



当日参加者

日帰り旅行

6月29日(火)

南郷温泉

神門（百済の館、西の正倉院）～南郷茶屋
南郷温泉山霧／美人の湯 参加者42名

ロマンを尋ねて

財光寺B地域班 菊地 健一郎



六月二十六日、降ったり止んだりの生憎の空模様マイクロバスが何かのトラブルで約三十分遅れて来た。その二台の車に分乗して神門へ向かった。

先ずは、西の正倉院を見る。校倉造りで現代風に言えば大きなログハウスである。柱、床板、壁板すべてが檜材で、中に入ると檜が高貴な香りをただよわせていた。小雨の中を百済の館、そして、南郷茶屋へと足を運ぶ。昼食はコンニャクを材料とした京料理であった。食事を満喫して温泉「山霧」で日頃の心身の疲れを心地よく洗い流し、さっぱりとした気分です。車上の人となり家路に向かった。事故もなく本当に楽しい一日を過ごした。来年も宜しくおもしろい。

西の正倉院



旅行のたのしさ

日知屋本郷A地域班 青木 キミコ



私はシルバー人材センターに入会しました。まだ日も浅いので何も分かりませんが、宜しくおもしろい。去る六月二十九日の日帰り研修旅行で南郷温泉に参加させて戴きました。この日の来るのを子供みたいにとっても楽しみに待ちました。乗車して自己紹介などしている内にアツと云う間に南郷に到着し、西の正倉院、百済の館と説明して頂きました。昼食は南郷茶屋、皆で乾杯し、料理はほとんどコンニャクの料理でしたが、コンニャクがこんなに美味しいとは思いませんでした。食事を終えて入浴し、しばらく楽しい会話をしているうちに帰る時間になりました。帰りはカラオケで、何もか



楽しい昼食

も忘れて楽しい一日でした。また参加させていただきます。本当に有難うございました。



説明を熱心に聞き入る

日帰り旅行に参加して

日知屋本郷B地域班 新田 峯一



事務局のお世話
で楽しい旅行がで
きました。

さて、その旅行
の様子と感じた事
の一端を…。往きの車中、兵頭次長の
「カラオケでもやりますか」と雰囲気
を盛り上げる為の音頭にもかかわら
ず、会員は何故か歌わず、喋らず、静
かな滑り出し。しかし、帰りは違った。
昼食での一杯による団らんが功を奏し
たのか満足感に浸り歌と手拍子でアッ
と云う間に帰着した。
懇なお願いを一言！。出発を早め、



全員集合

もう少し遠方でもよい。昼食は入浴後
にし、所要時間も今少し長くどればく
つろいだ気分で過ごせるのでは…と思
いました。事務局や同行会員のみなさ
んお世話になりました。



生憎の雨でした



車中にて

南郷温泉旅行へ参加して

財光寺D地域班 吉田 タツエ



どしゃぶりの雨
もバスに乗り込む
時には止んでいた。
兵頭さんのクイズ
に必死で答えなが

ら、バスはいつしか山合いの道を走っ
ていた。雨に煙る山々はゆったりと力
強く、優しく私達を見守っているよう
にさえ見え絶景だった。
百済の里、西の正倉院は木曾天然櫓
二、〇〇〇本、延大工九、八三一人…。
完成直径六十cmとの説明に感動。昼食
会では友情を結び合う楽しい笑顔がは
じけていた。露天風呂から望む風景は、
霧雨に煙る山々が一望でき、こころ安



くつろぎ

らくひとときを過ごせました。
帰りは、あの友この友がカラオケを
楽しみながらの旅だった。シルバー人
材センターの方々に深く感謝致します。



土産の心配



ハイ/チーズ

一泊鹿児島指宿温泉旅行

6/23(水)
~6/24(木)

仙巖園~指宿温泉(泊)~

知覧: 武家屋敷~特攻資料館 参加者67名

1号車

旅の疲れも吹き飛ば



2号車

散策中



3号車

万歳三唱も声高らか



指宿旅行に参加して



日知屋枝郷B地域班

井上 美智子

土砂降りの雨の中、バスに乗り込むと車中には生き

いきとした会員の方々です。鹿児島島に向かうにつれ雨も止み、仙巖園に着いた時には、晴れて眩しいくらい空の下で見物が出来ました。旅館に入りお茶のおもてなしを受け、部屋割りで仲間が決まった。「指宿に来たからには、砂風呂に入らないとね」と浜風に当りながら砂風呂に入る。生き返った心地になり、頬を紅めて部屋に帰りました。

夜は宴会です。ご馳走に舌鼓をうちながら芸達者の方々に見とれていました。そこへ宿のおかみさんが来られ「本当にシルバー会員さんですか？お若い方ばかりですね。」とおっしゃって目を丸くしておられました。素晴らしい歌声や踊りでした。部屋に帰り温泉に入り、おしゃべりして楽しい夜は更けました。

宿の朝は天候もよく、知覧武家屋敷へと出発です。庭園散策して特攻資料館見学です。係の方の説明があり「国を思い、父母を思い、永遠の平和を願いながら散った若桜であった」と、今の平和に感謝して有難く手を合わせました。車中ではカラオケ歌合戦になり心もはずみ楽しい旅になりました。

笑いと涙の研修旅行



富高A地域班

楠 純一

二十三日早朝より生憎の雨の中センターを八時に出

発する。大半の会員は早い時間に集まっていた様子。私は昨夜より旅行の用意をととのえ、五十年前の中学校の修学旅行を回想していた。当時、鹿児島旅行は送迎のバス等なく富高駅から国鉄に乗車、緊張と楽しさの中での一コマの思い出が走馬燈のように思い出された。会員六十五名は一、二、三号車に乗車。局から兵頭次長、前田係長、黒木さんが各車に便乗。私の二号車は黒木さんの挨拶のあと運転手の紹介、自己紹介、その後、車内でカラオケ大会等楽しみながら一路目的地の鹿児島へと向かう。一泊二日の研修旅行は、私にとって有意義な旅行であり研修研鑽の場であったと確信しております。同時に、日向SC会員相互の親睦と和が来たる二十一世紀に向けての礎となることを願います。最後に今回の研

修旅行を盛大に盛り上げて頂いた事務局職員の方々のご苦勞に心から感謝申し上げます。



修旅行を盛大に盛り上げて頂いた事務局職員の方々のご苦勞に心から感謝申し上げます。

楽しかった鹿児島旅行



細島地域班

黒木 喜代子

私は今回初めて旅行に参加させていただきました。

バスの中では、カラオケやおしゃべりで笑いが絶えず、とても楽しく目的地までの時間が短く感じられました。予定より早くホテルに着いたのでゆっくりくつろぐ事ができ、夕食時には、参加者の人達の歌や踊りがあり楽しく過ごし、又その中で人と人とのふれあいがあり、語り合うことができました。二日目は、知覧の武家屋敷と平和記念館の見学でした。武家屋敷では庭園を見て廻りましたが、四回目の見学でしたが、何回行っても戦争の悲惨さや若くして戦場に散った人達の遺品などを見ると胸が一杯になります。説明される方の話を聞いている内に涙がでてきました。亡くなられた方々の冥福を祈り記念館を後にしました。

一泊二日の旅行でしたが、楽しい思い出の多い二日間でした。楽しい旅行ができました。ありがとうございます。ございました。



思い出の多い二日間でした。楽しい旅行ができました。ありがとうございます。ございました。

十周年記念誌の編集を終えて



編集委員

森岡 健二

暑中お見舞い申しあげます。会員の皆様に

は、お元気でシルバー人材センターの作業にご精励のことと察します。記念誌編集過程の雑感について... 表紙のタイトルは会員公募で一位の「ひゅうが」を選定しました。スケジュール作成から完成までの経過ですが、平成十年九月十八日第一回目の編集部会開催から第二十回に及ぶ会合を重ね編集委員一丸となって進行した結果、皆様のお手元にお届けした記念誌が出来ました。内容は、皆様からの原稿を掲載に当て、山積された写真を慎重に選び出し「十年間のあゆみ、グラフィティ10」と分類しました。レイアウトについては読まれる方の立場になって編集にまとめました。

記念誌作成について事務局の皆様より支援をいただき有難うございました。会員の皆さん、たまには記念誌を展げて私達が歩いた十年間の思い出をなつかしく思い浮かべて下さい。



「大役すんで汗ながし」

事務局だより

退職あいさつ

後藤 昌弘



平成十年五月より事務局の業務に就き一年余り、夏場の一番多忙な時期の為、事務局の皆様にご迷惑をおかけする事になり非常に心苦しいのですが、十一月六月をもって退職する事になりました。

この一年間、会員の皆様の名前と顔も少し分かるようになり、受注手配も当初にくらべ楽になりましたが、その間、会員また事務局の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。この紙面をおかりしましてお詫び申し上げます。

シルバーの皆様は元気だとはいえ高齢なので、毎日の健康管理と安全には充分配慮され、今後もセンターの発展に努力されて下さい。

本当にこの一年間お世話になり、ありがとうございました。

社会参加の輪を広げよう

CPシニアワーク

プログラム事業とは

高齢者を対象とした技能講習、介護講習で雇用就業を前提として実施する事業です。

シニアワークプログラム技能講習会

シルバー人材センターでは、必要な技能を修得することを目的に次のとおり実施いたします。

【草刈機取扱講習会】

●講習日程

9月2、3、6、7、9、10日

●講習内容

草刈機の取扱い、安全就業について学ぶ。

【ビルメンテナンス講習会】

●講習日程

9月27、28、29、30日

10月4、5、6、7日

●講習内容

ビル・クリーニングに関する器具の取扱いから清掃方法までの基礎知識と技能に関する講習

【緑化保全管理講習会】

●講習日程

10月20、21、26、28、29日

11月4、5、9、10、11日

●講習内容

緑樹の剪定、病害虫の防除の基礎知識と技能に関する講習

【ワープロ講習会】

●講習日程

10月12、13、14、15、19日

11月12、16、17、18、19日

●講習内容

ワープロの基本操作、文書作成などを学ぶ。

【介護講習会】

●講習日程

平成12年2月中(2日間/2回)

●講習内容

家事援助、介護の知識、技能などを学ぶ

希望者は、事務局までお申し込み下さい。
☎五二二二〇〇

会員逝去のお知らせ

松岡 正実(67才)

日知屋枝郷A地域班

平成十一年四月十六日死去

小西 ミツエ(74才)

細島地域班

平成十一年七月一日死去

心よりお悔やみ申し上げます

ご冥福をお祈り致します。

編集後記

総務庁が長寿社会のアンケートの調査結果をまとめたとき、「老後のほじまり」は、

①仕事を引退したとき

②身体の自由がきかなくなったとき

③年金を受給して生活したときの

順と云う。「健康であれば働きたい」という高齢者の多いことが分かっています

ますが、体力が弱ったりして働くことができなくなった人は「老後」を感じるのでしょうか。日向市のシルバー人材センターも、栄えある十周年の記念式典を終え、大いなる事業成果を踏まえて十年の節目を、感謝で、会員四四七名が結束して次の世代二十一世紀へ大いなる飛翔を希望します。

M・T

編集委員

寺原 正仁 福田 チエ子

事務局職員

佐藤 作市 兵頭 幸一

暑中お見舞

申し上げます

